北海道

長引く咳や息切れ、放っていませんか？

シーオーピーディー

もしかすると COPD かもしれません

COPDとはどんな病気？

COPD（慢性閉塞性肺疾患）は、主に長年の喫煙により徐々に呼吸機能が低下していく肺の病気で、「肺気腫」や「慢性気管支炎」などが含まれます。

北海道のCOPDの死亡数は、死亡者全体の1%を占めており、人口10万人当たりでは14．2と全国の13．7を上回っています。*

＊令和4年人口動態統計（確定数）（厚生労働省）

こんな症状が長引いていませんか？放置すると・・・

階段や坂道などでの息切れや咳、痰など

重症化の可能性も

日常生活でも酸素吸入が必要になる場合があります。

COPDになる原因は？

COPDの主な原因としては、たばこが関与しているといわれており、喫煙者の20%前後が罹患するとされています。

喫煙率が高い北海道において、COPDはQOL（生活の質）の低下が心配される疾患の1つです。

【20歳以上の者の喫煙率】

	北海道（全国順位）	全国
男性	28.1%（14位）	25.4%
女性	13.2%（1位）	7.7%

令和4年国民生活基礎調査（厚生労働省）

COPDの予防と治療は？

COPDの予防及び治療の基本は「禁煙」です。

COPDの初期は無症状で、進行が緩やかであるため、息切れなどを自覚した頃には病気が進んでいることが多く、早期に診断して適切な治療を受けることが重要です。

症状が進んでしまった肺の機能を元に戻すことはできませんが、「禁煙」と「適切な薬物治療・非薬物治療（適切な生活習慣、日々の運動習慣、リハビリなど）」により、病気の進行をできる限り食い止め、健康的なライフスタイルを維持することができます。